

## 「移住・移民のコンフリクト」講演会のご案内

大阪大学グローバル COE「コンフリクトの人文科学」に属するリサーチフォーカス「コンフリクトと価値」では、下記の要領で移住・移民のコンフリクトに関する講演会を開催いたしますので、広くご参加いただきますようご案内申し上げます。

日時：平成 21 年 12 月 12 日（土）17:30～19:30

場所：大阪大学豊中キャンパス・大学教育実践センター・開放型セミナー室  
（教育研究棟 I（旧：自然科学棟）1 階）

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/toyonaka.html>（41 番の建物）

講師：マルチン・ガレント氏（Marcin Galent、ポーランド・ヤゲロニア大学・ヨーロッパ学研究所助手）

題目："International Migrations at the Beginning of the 21 Century: Global Challenges and Local Perspectives."

「21 世紀初めの国際的移住——グローバルな挑戦とローカルな視点」（通訳付き）

ガレント氏はエラスムス・ムンドゥス（EM）プログラムのクラクフ大学コーディネーターとして大阪大学文学部に滞在中の社会学者です。EU における移民問題について博士論文を執筆し、とりわけイギリス社会の移民への態度や、ベルギーにおけるポーランド人移住労働者が引き起こした変化について研究してこられました。「移民は社会の結束を乱す」という通説がありますが、ガレント氏はむしろ、ホスト社会と移住者との個人的接触が「相互信頼」を構築するという、マイクロ次元での現象に注目されています。「コンフリクトと対話」をめぐる示唆に富んだお話が期待できます。

主催：大阪大学グローバル COE プログラム「コンフリクトの人文科学国際研究教育拠点」  
「コンフリクトと価値」RF 代表：小林傳司（大阪大学コミュニケーション  
デザイン・センター教授）

連絡先：大阪大学文学研究科 中岡成文（06-6850-5662）